

**◆里山体験教室**  
**伐採体験とミニほだ木作り**  
昔から行われてきた里山の管理作業を体験します。ノコギリで木を伐採し、お土産にシイタケのミニほだ木を作ります  
日 時：1月24日(日) 10:00~14:00  
対 象：小学生以上(小学生は保護者と参加)  
定 員：15名(応募多数の場合抽選)  
参加費：300円(保険代・材料代)  
要申込：12月24日~1月9日までに

**◆ボランティア養成講座**  
さいたま緑の森博物館での年間を通じてのボランティア活動を希望する方向けの連続講座です。狭山丘陵の成り立ち、管理作業の基礎などを全3回の講座で学びます。  
ボランティア登録には、本講座の受講が条件です。  
ボランティア登録後は、当館の園地整備、イベント運営協力、動植物保全活動などを行います。  
日 時：①2月14日(日) 10:00~15:00  
②2月27日(土) 10:00~15:00  
③3月7日(日) 10:00~15:00  
対 象：中学生以上(中学生は保護者と参加) 全3回参加可能な方  
定 員：10名(先着順)  
参加費：300円(保険代・全3回分)  
要申込：1月14日から受付開始

**◆里山ようちえん**  
**カエル組・オタマ組**  
子どもの成長段階や好奇心に合わせてながら、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当持参、お菓子付き。  
※参加対象年齢が異なりますのでご注意ください  
**【カエル組】**  
日 時：2月7日(日) 10:00~13:30  
対 象：R2年4/1時点で満4・5歳児と親御さん  
定 員：各回10名(応募多数の場合は抽選)  
参加費：親子2名で1000円、1名追加ごと500円  
要申込：1月7日~1月20日までに

**【オタマ組】**  
日 時：2月10日(水) 10:00~13:30  
対 象：R2年4/1時点で満2・3歳児と親御さん  
定 員：各回10名(応募多数の場合は抽選)  
参加費：親子2名で1000円、1名追加ごと500円  
要申込：1月10日~1月17日までに

**◆休日さとやま部**  
**薬の「みごぼうき」作り**  
20代~40代限定の、休日を里山で楽しむイベントです。みどり森で収穫した稲藁を使って、小さなぼうきを作ります  
日 時：3月14日(日) 10:00~12:00  
対 象：20歳代~40歳代の方  
定 員：10名(先着順)  
参加費：500円(材料代・保険代)  
要申込：2月14日から受付開始

**◆みどり森ガイドウォーク**  
当日募集型のガイドウォークです。案内所から大谷戸湿地周辺のみどころを1時間程度でご案内します。テーマは当日になってのお楽しみ!  
日 時：1月31日(日) 11:00~  
2月28日(日) 11:00~  
3月13日(土) 13:00~  
3月28日(日) 11:00~  
対 象：どなたでも  
定 員：10名(先着順)  
参加費：無料  
要申込：当日10時から案内所にて受付

**クロスワードパズルのこたえ**


ク	キ	ス	ウ						カ
ウ	キ								カ
ク	キ								カ
ク	キ	ウ	ク	キ	カ	キ	ウ	カ	カ
カ				キ	ウ	キ		ウ	カ

**★新型コロナウイルス感染症対策によるイベント対応について**  
各種イベントは、感染症対策のため定員を当初の予定より減らした上、内容の調整を行い実施しております。その他、変更等がある場合がある場合には、当館ホームページにてご案内いたします。  
また、当館スタッフも感染症対策に努めますが、イベントに参加される際は、ご自身でも感染症対策(マスク着用、手洗い、参加前の検温、消毒等)をお願いいたします。感染防止のための対策に、ご理解ご協力をお願い致します。

## 博物館からのお知らせ

**~散策時の注意事項~**  
園路に霜が発生する季節となりました。日中は霜が溶けて園路がぬかるむことがあり、滑りやすくなる場合がありますので、注意して散策をしてください。また、木の橋でも朝や日陰の場所は凍っていて滑ることがありますので、ご注意ください。積雪時や降雪時は、無理な散策はなさらないよう、お願いいたします。

## 博物館の利用案内

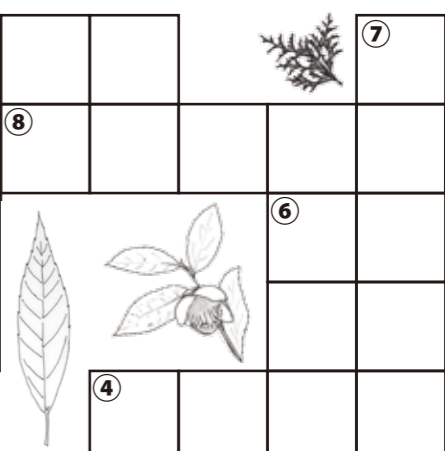
<p><b>緑の森博物館の利用ルール</b></p> <p>緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。</li> <li>2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。</li> <li>3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。</li> <li>4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)</li> <li>5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。</li> <li>6) バーベキューや花火など火を使わないでください。</li> <li>7) ゴミは持ち帰りましょう。</li> </ol>	<p><b>アクセス</b></p> <p>■公共交通機関をご利用の場合 小手指駅南口より西武バス「宮寺西」または「金子駅入口」行き乗車、約25分「荻原バス停」下車、徒歩約10分</p> <p>■案内所までの地図 右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)</p> <p>■ご来館時のお願い 駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。</p> 
---	---

<b>発行年月</b>	2021年1月	<b>開館時間</b>	9:00~17:00 【入館無料】
<b>発行</b>	さいたま緑の森博物館	<b>休館日</b>	月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
<b>住所</b>	〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1	<b>公式HP</b>	https://saitama-midorinomori.jp/
<b>TEL/FAX</b>	04-2934-4396	<b>指定管理者</b>	株式会社自然教育研究センター

雑木林の木々が葉を落とし、雑木林の中が明るくなるこの季節、日頃あまり注目されない常緑樹が目につくようになります。今回の特集は、そんな常緑樹にスポットを当てた「みどり森の常緑樹」です!  
雑木林の管理上、伐られてしまうことが多い常緑樹ですが、人々はどのようにしてきたのか、昔の人々の目線も感じてご覧下さい。  
また、右の常緑樹クロスワードパズルは「人との関わり」についてがカギです。中面を読んで解いてみてくださいね!

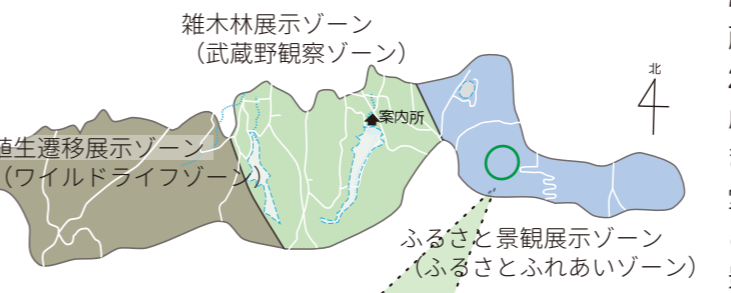
**じょうりょくろすわーど**

②	③				⑦
①⑤		⑧			
				⑥	
			④		




## 最終回! フィールドミュージアム みどり森 ⑨ ~砂川堀源流部~

さいたま緑の森博物館(通称みどり森)の特色は、里山環境そのものを展示とした『フィールドミュージアム』であることです。ここでは、フィールドをエリアごとに紹介します。最終回となる今回は、**ふるさと景観展示ゾーン(ふるさとふれあいゾーン)**にある砂川堀の源流部についてご紹介します。



ふるさと景観展示ゾーンは、案内所がある大谷戸湿地の東側所沢市域に位置しています。先に開園した入間市域に続く第2期整備予定地で、予定よりも遅れて平成25年に開園し、平成27年には園路も新設されました。  
また、隣接する三ヶ島湿地は狭山丘陵で最も大きな谷戸で、堂入りの池を源流部とし、その流れは砂川堀となります。このゾーンでは多くのボランティア団体がふるさとの景観を残す活動を行っています。

**~砂川堀源流部~**



**【みどころ】**  
園路から源流部の堂入りの池を見ることはできませんが、源流部から少し下ったところを園路が交差しています。古くから近所に住んでいる方の話では、池は深く危険なため、子どものとき「堂入りの池には泳ぎに行くな」とよく言われたそうです。  
春先に比良の丘から隣接する雑木林を眺めると、美しい萌黄色の中に常緑のスギやヒノキが点在し、土地の境界木として植えられた様子もわかります。

この連載を開始した「ニュースレターNO.30」で紹介したように、みどり森が位置する狭山丘陵は、日本経済が高度成長を続けていく時期に、多くの開発の波にさらされてきました。そんな狭山丘陵の「自然や地域文化など」を後世に残したいという市民の保護運動により、みどり森は里山の自然や景観そのものを野外展示とする【雑木林博物館構想】を元に25年前に設置されました。このような設置経緯から、自然を保護するために、園路を全面的に新しく設けるのではなく、昔から人々が利用していた道を活用するとともに、新規開発を減らすために駐車スペースも必要最低限としています。このため、園路も狭く、駐車台数も少ないために不便と感じる方も多いかもしれません。しかし、そのおかげで、狭山丘陵の里山の面影を強く感じることができる施設となっています。2020年に開館25周年を迎えたみどり森で、これからも里山の自然をお楽しみください。

# 目の目を浴びたい!

## みどり森の常緑

冬も、あおあおとした葉をつける常緑樹。落葉樹がはだかになった今こそ、見つけてみませんか。みどり森で見られる常緑樹の中から、9種をご紹介します! 散策しながら探してみてください。この9種は、実はどれも人の暮らしと関わりがあります。これらの常緑樹がどのように利用されるのか、表紙のクロスワードパズルを解きながら考えてみてくださいね。



### ヒノキ (ヒノキ科) スギ (スギ科)

花: 4月 実: 10~11月  
おなじみのスギ・ヒノキ、見分けがつかますか? みどり森で多く見られるのはヒノキです。鱗やとげ1本=1枚の葉です。木の周辺には秋に熟して役目を終えた実(球果)が落ちているので探してみましょう。

ヒノキ: 葉は鱗状で平たく実(球果)も平たい面が集まる



スギ: 葉も実(球果)もトゲトゲ



### シラカシ アラカシ (ブナ科)

花: 4~5月 実: 9~11月  
どちらもどんぐりのなる木。仲間のコナラのような樹皮の裂け目はできません。シラカシは、まずは案内所の駐車場にあるものを見てみましょう。よく似たアラカシも数は少ないながらも林内に見られます。

シラカシ: 細身で裏が白っぽい葉。



アラカシ: 葉の幅が広く、裏面の葉脈もクッキリ。

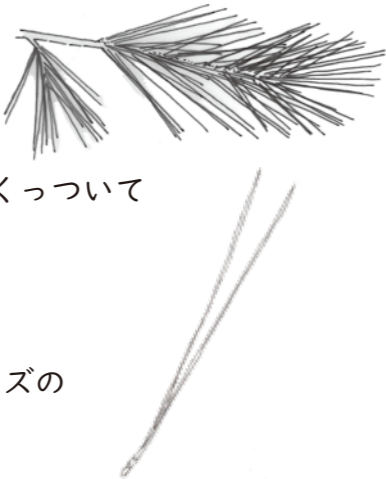
### チャノキ (ツバキ科)

花: 10~11月 実: 10~12月  
お茶の木を見たことはありますか? 茶畑以外にも、実は、みどり森の散策路のわきで生えているのが見られます。葉脈を見ているとハートマークが見えてきませんか…?



### アカマツ (マツ科)

花: 4月 実: 翌10月  
樹皮が赤いマツ。2枚の葉がくっついてV字型になっています。細くやわらかい針葉なので、さわっても痛くありません。秋に、手のひらに収まるサイズの松ぼっくりが熟します。



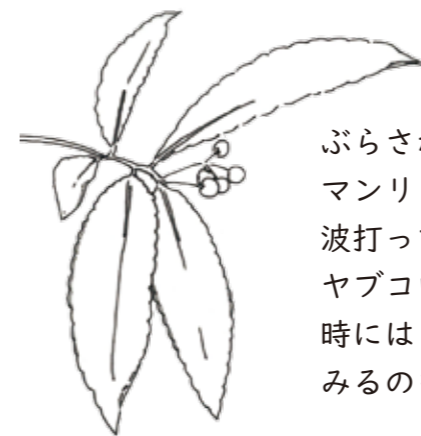
### ヒサカキ (サカキ科)

花: 3~4月 実: 10~12月  
秋から冬に黒い実がびっしりつき、メジロなどがよくついでにみに来ています。雌雄異株です。枝先にちょろっと伸びた芽がかわいいので、探してみてくださいね。



### マンリョウ ヤブコウジ (ヤブコウジ科)

花: 7~8月 実: 11~1月  
足元を探すと、葉の下にかくれてぶらさがる赤い実が見つかります。マンリョウの鋸歯はとがらず丸みがあり、波打っていて、もくもく雲を描くときのようなようです。ヤブコウジは高さ10cm程度でとても背が低いので、時にはしゃがんで、小さな生きものの目線で観察してみるのもよいかもしれません。



## 表紙 じょうりよくろすわーどのかギ

- タテ ① みどり森でいちばんよく見かける常緑樹は□□□□です。このあたりは人の手を入れず自然にまかせておくと、この木が優占する林になります。
- ヨコ ② ①の木は、農具の柄に使ったり、家の□□□□として植えたりもしました。
- タテ ③ 昭和30年代(1955~64年)、家庭用の燃料が薪や炭などから石油やガスに急速に変わったことで、薪の需要が減り、雑木林の一部は□□□□用材となるスギやヒノキの林に植え変えられました。また、みどり森では昔から土地の境を示す目印の木として植えられたものがところどころに見られます。
- ヨコ ④ みどり森の西の尾根はかつてアカマツ林だったそうで、その名残が見られます。アカマツはお正月の□□□□に欠かせない縁起物です。また、葉はよい燃料となったそうです。

- ヨコ ⑤ ヒサカキはサカキの代用として□□□に使われたり、生垣に使われたりしました。
- タテ ⑥ 人間といえば□□□茶。園路の隣にも茶畑の風景が広がっています。色は静岡、香りは宇治よ、味は□□□でトドメさす、とうたわれる名産地です。チャノキはもともと畑の土留めに植えられていました。園路で見られるのはその名残です。
- タテ ⑦ マンリョウは赤い実がなる常緑樹で、名前も「万両」とおめでたいことから、□□□□飾りに使われます。
- ヨコ ⑧ マンリョウと同じく飾りに使われるヤブコウジの別名は□□□□□□。百両(カラタチバナ)に対してヤブコウジは実が小さく数も少ないのでこう呼ばれるそうです。

### ●植物の移り変わりと常緑樹について

狭山丘陵の雑木林では、薪や落ち葉たい肥とするコナラやクヌギといった落葉広葉樹を育てるために下刈りを行い、常緑樹は刈り取られていました。近年は薪や落ち葉需要がなくなり、管理放棄された雑木林が増えました。

下刈りせず林を放置すると、常緑樹が勢いを増し、シラカシなどの薄暗い照葉樹林に変わっていきます。これは植生遷移(しょくせいせんい)といって、植物が移り変わる自然の流れです。

常緑樹はマツなどを除けば、日陰に耐える性質が強く、少ない光でも成長できます。雑木林の利用が盛んだった頃には、常緑樹は今よりもずっと少なかったのではないのでしょうか。